

梁川ホームだより

No.

6

●平成14年6月15日発行

(題字 佐藤理事長)

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 曳地 勝正
 福島県伊達郡梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111(代) FAX 024 (577) 6115

事業内容

- 特別養護老人ホーム
梁川ホーム 定員 80名
- 短期保護施設(ショートステイ)
定員20名
- デイサービスセンター I 型
- デイサービスセンター II 型
- 梁川町在宅介護支援センター
- ケアハウス広瀬 定員30名
- 居宅介護支援事業所

〔梁川ホーム運営理念〕

安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

理事長に佐藤弘氏再任

—当法人役員改選結果のお知らせ—

当社会福祉法人信達福祉会の役員等(理事、監事、評議員)は、平成14年3月末日、二年間の任期満了により一斉改選が行われました。その結果、次の方々が新役員として4月1日付で委嘱され就任いたしました。

急速な高齢社会の中で、益々増大する介護需要に応えるため、福島市並び伊達郡内九町の全面的なご支援により設立された当法人の「あつかし荘」「梁川ホーム」「川俣ホーム」3施設の各事業のサービスの一層の充実を図り、よりよい経営のため、役員一同力を合わせ微力を尽くして参りたいと思います。

関係市、町、地域社会の皆様、そして利用者の皆様の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

〈理事・監事〉

役職名	氏 名	(役 職 名 等)
理 事 長	佐藤 弘	元保原町社会福祉協議会 常務理事
理 事	佐久間幸雄	国見町選挙管理委員会 委員長
〃	佐藤 哲雄	伊達町 民生児童委員会会長
〃	松浦 武夫	月館町シルバー人材 センター理事長
〃	斎藤 幹夫	川俣町民生児童委員 協議会会長
〃	氏家 仁	桑折町 社会福祉協議会評議員
〃	末永 久治	霊山町 社会福祉協議会評議員
〃	大内 雅勝	飯野町 社会福祉協議会理事
〃	大竹喜三郎	福島市健康福祉部長
常務理事	曳地 勝正	梁川ホーム施設長
理 事	鈴木 捷治	あつかし荘施設長
〃	高橋 一康	川俣ホーム施設長
監 事	中村佐平治	中村商事役員
〃	丹野 弘史	福島市 社会福祉協議会常務理事



春うらら……丹精こめて作った満開のチューリップ畑で



〈評 議 員〉

理事会風景

氏 名	(役 職 名 等)
安細 隆清	日本赤十字社 桑折町分区長
富田健一郎	日本赤十字社 伊達町分区長
富永 武夫	国見町 社会福祉協議会会長
池田 善治	梁川町 社会福祉協議会会長
仁志田昇司	保原町 社会福祉協議会会長
佐々木康雄	霊山町 社会福祉協議会会長
遠藤 五六	月館町 社会福祉協議会会長
黒沢 正夫	日本赤十字社 川俣町分区長
斎藤 健	飯野町 社会福祉協議会会長
瀬戸 孝則	あぶくま福祉会 評議員

氏 名	(役 職 名 等)
原田 実	公立藤田総合病院 院長
佐瀬 元英	伊達地方町村会 常務理事兼事務局長
佐藤 新一	川俣町 社会福祉協議会理事
八巻 市夫	前梁川町社会福祉協議会 事務局長
瀬戸 明人	県北地方振興局長
橋本 吉弘	福島市民生児童委員 協議会会長
神藤 博	桑折町 社会福祉協議会理事
佐藤 新一	伊達町 社会福祉協議会事務局長
佐藤 豊治	国見町 介護保険運営協議会委員
三瓶 数衛	保原町民生児童委員 協議会会長
霜山 守二	あぶくま福祉会 理事長
羽賀 武志	月館町 社会福祉協議会常務理事
佐藤 祐吉	飯野町 社会福祉協議会評議員
千葉 満雄	霊山町民生児童委員 協議会会長
小河 徹也	伊達地方老人クラブ 連合会会長

「平成十三年度社会福祉法人信達福祉会決算報告」を添付しましたので
 ご覧下さい。

特集5

「人間尊重の施設づくりに向けて」

—— 梁川ホーム運営理念具現化への第一歩 ——

リスクマネジメント

一、身体拘束禁止の取り組み

梁川ホームでは開所当初より unnecessary 身体拘束は行わないという考えで、利用者の処遇を進めてき

ましたが、平成十三年三月に厚生労働省より提示された、「身体拘束ゼロへの手引き」により、それ

まで利用者の事故を防ぐという目的で行っていた①車イスの安心ベルト、②ベッドの四本柵、③オムツはずしを防ぐためのつなぎ服、④ミ

トンの手袋、以上に ついても禁止となり、始めは大変戸惑いました。

恐らくこの戸惑いは、お年寄りを介護させていたでいる施設であれば、どこも共通して抱いた思いであったと思います。

為の一つ一つが、始めはお年寄りを事故から守るためのものとして考え出されたものであったはずだからです。

何故これらの行為が身体拘束にあたるのか、身体拘束の結果お年寄りにどのような悪影響が生じるのか？まずはこの問題について取り組んでいくことにしました。

平成十三年六月に抑制廃止についての研修に職員を派遣し、主催者にビデオ撮影の許可を受け、講師の話を撮影、ビデオを持ち帰り、それをもとに施設内で研修会を持ち、身体拘束禁止に対する知識と考えを培っていきました。そういう中で職員一人一人が自発的に、①安心ベルトを廃止し、②四本柵を二本柵に減らす、またはベッドからたたみ・カーペット使用に変更、③つなぎ服を脱いでもらい、排便コントロールの実施と排泄間隔の把握に努め、④経管栄養チューブの抜去の心配される方にもミトン手袋の使用をせず、口からの摂取に切り替える、などに取り組んでいきました。また、利用者の見守り強化と

処遇に厚みを持たせる目的でパート職員の増員も図りました。

以上が身体拘束禁止に向けての梁川ホームにおけるこれまでの取り組みですが、今後の課題としては、以前は事故を防ぐためと考えて行っていた抑制を廃止したことによって、逆に起こ

二、平成十三年度の事故報告

平成十三年度の事故の状況については、現在集計と分析を進めているところです。本来であれば、この号に特集記事として掲載するはずのものでしたが、間に合わせる事が出来ず、申し訳ありませんでした。

大雑把な状況としましては、平成十三年度も、平成十二年度同様、件数の多かった事故は転倒があげられます。

転倒事故は、車イスとベッドやトイレの便座との移乗の際に失敗して尻もちをついてしまったという場合、また車イスから立ち上がり歩こうとして足がつれて転んでしまったという場合が多く見られました。

また、転倒により骨折されてしまったケースが、普段はあまり介助を必要としないで生活されている利用者に集中しています。

このことは、次の二つの点、お年寄りの骨はとももろくな

り得ると予想される事故をどのように防いでいくかということと、抑制禁止と裏腹に事故の起こり得る確立は高まるということについて利用者の家族に理解を深めていただいくことを考えています。

っており、ちょっとした衝撃でも折れ易いものであるということと、それぞれのお年寄りの時間の経過による身体の変化―必ずしも昨日と今日の状態は同じではない―ということへの自分たちの認識の甘さが原因ともいえ、怪我をされたお年寄りへのご心配をおかけしてしまつたご家族には、大変申し訳のないことでした。

この他にも、介助の必要なお年寄りの介助中の骨折もありました。そのいずれについても、ご家族の皆様からはお叱りを受けるどころか、逆に慰めの言葉やねぎらいの言葉を頂戴し、申し訳なくも本当にありがたく、今後より一層の心を込めたお世話をさせていただかなくてはと心の引き締まる思いの一年でした。

なお、詳しい事故の集計と分析結果につきましては、次号にて報告させていただきます。

三、苦情解決委員会の一環として

去る五月二十七日(月)に、近隣の指定居宅介護支援事業所並びに在宅介護支援センターの職員の皆様をお招きして、在宅介護サービス等事業へのご意見を承る会を開催いたしました。

当日は、梁川町をはじめ、桑折町、国見町、保原町、霊山町の各事業者の皆様十一名においていただき、施設の概要説明、施設内見学、各在宅介護サービス等事業へのご意見やご質問を承り、最後に当施設で、お年寄りの皆さんにお出ししている給食を試食していただきました。

始めに予定していた時間では皆様のご意見を全て承ることが出来ず、もう少し時間設定に工夫が必要と思われました。ご意見を承る会の席上話し合われた内容につきましては、紙面の都合上、次号に報告させていただきます。



梁川ホーム

アットホームな空間を目指して
ユニットケアグループに名前をつけました

四月一日から、利用者の皆さんの過ごしている場所の名称が決まりました。

それぞれの場所の特色を表し全体として一つの街を思い浮かべることができるような「通り名」となりました。

ここち良い風の中を、利用者の方が往来し買物などにも気軽にでかけられるような「そよかぜ通り」。

利用者の方にも、訪ねる家族の方にも笑顔が絶えず、安心して過ごせるような「ほほえみ通り」。

常盤樹のように伸びやかに、そして健康に日々を過ごしていけるような「ときわぎ通り」。

見守りやはたらきかけを大切にし、利用者の方が安らいで楽しく過ごすことができるような「やすらぎ通り」。



園の空間に「通り名」が掲げられてから一ヶ月、利用者の方にもおしなべて好印象で、雰囲気や柔軟に、そして動きのあるものになっているように感じます。職員にとってもまた介護の道しるべとなりますよう利用者の方、家族の皆さんと一緒に呼び親しんでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



梁川ホームの自慢

名物おばあちゃん



「スーパーおばあちゃん」

菅野 ナヲさん

研修企画の
担当者誕生

当ホームでは、処遇向上のためには職員の資質向上を図ることも、大切な条件の一つであるという考えに立ち、これまで多数の外部研修に職員を派遣してきました。

今年度はその考えをもう一歩進めて、内部研修をも含めた研修全般についての充実を目指すべく、研修担当者（看護師・ケアマネージャー・社会福祉主事、救命救急士の有資格者）を配置しました。

研修担当者は、通常の介護・看護業務からは離れたところで施設内外から寄せられる職員研修の取捨選択や派遣職員の検討、推薦や職場内研修の企画立案、

とても人なつっこい性格の菅野ナヲさんは、様々な顔を持つ「スーパーおばあちゃん」なんです！

ペンを持てば、独特の画風と才能あふれる「画伯」に、はたまた編み棒を持てば「編み物職人」に大変身。そんな努力家ナヲさんの一番の楽しみは、「お手紙書き」です。「いろんな人と会えて、毎日が楽しいぞい！」と話すナヲさん、今日もお手紙書きに夢中です！

介護の現場での指導等に当たります。

痴呆介護研修

痴呆介護研修とは、今後増加が予想される痴呆性高齢者の介護サービス充実させるために、痴呆介護に対する知識や技能を持つ専門家を全国規模で養成するというもので、平成十三年度より、仙台市・東京都杉並区・愛知県大府市で開催されているものです。

この痴呆介護研修の仙台会場に、当ホームの石塚介護士総括主任が五月十三日より参加しています。研修期間は約二ヶ月。

研修終了後は福島県でも数少ない痴呆介護の専門指導者として、施設内外で皆様のお役に立つべく活躍してもらう予定です。

スナツプ&スナツプ

5/22 バスハイク／観月台公園



青空の下でのお弁当…最高だねえ





リハビリマッサージのひとつ
とってもいい気分～

今年度より新たなサービスとして、祝日サービス、時間延長サービス、専門のマッサージ師によるリハビリマッサージ、理容師による理容サービス（実施時期七月より）など有料ではありますが、利用者のご希望の元に開始しました。

祝日サービスにおいては、殆どの利用者の方に利用して頂いております。

デイサービスセンター

リニューアルしました

祝日・時間延長サービスなど開始

当デイサービスセンターの歴史も五年がたちました。介護保険適用となり、利用者の皆様のご希望にそったよりよいサービスを目指し、健闘し、努力しております。

また、時間延長サービスは、各曜日約十二名ほどの利用が行われております。

マッサージサービスも、とても好評で、マッサージを楽しみに来所する方もいらっしゃるようです。いろいろなサービスが増える中で、恒例の行事も平行して行っております。正月のもちつきや、ひなまつり、桜の花見など、皆様と共に楽しみました。今後は、設備面でよりよいサービス利用につながるよう検討して行きたいと思っています。



利用者同士で息の合ったもちつき「よしよ、よしよ、よしよ」ととてもいいおもちゃでした

ケアハウス広瀬

今回は、特にケアハウス広瀬がお世話になっている方々を、感謝の気持ちを込めてご紹介いたします。

毎月の陶芸クラブのご指導をボランティアでやっていた丹野隆雄先生です。



— 丹野 隆雄 —

ケアハウス広瀬の皆さんと陶作をするようになったのは、私が中央公民館で仕事をしていた折、陶芸講座の話があったのがきっかけです。平成十年六月でしたから、四年前です。当時の日記には、「陶人五人。意欲満々。腕の力が弱いので、粘土を伸ばすのに苦労しながらも、それぞれ世界に一個しかない味のある陶品を作り出していた。九十三才の方が参加してくれたこと、すばらしい」と書いてありました。最近、皿、小鉢、コーヒークップ、土鈴、飾り物など、各

地域の皆さん お世話になってます



菅野桃李先生

敦賀サト子さん

私がケアハウス広瀬にお世話になりました四年、まもなく五年目を迎えます。皆様が楽しみに待っていてくれますので、今日も、皆な元気な顔を見せてくれますようにお願いしつつ、私自

— 菅野 桃李 —

保原町から菅野桃李先生をお招きして、お腹の中から声を出そうと、毎月民謡を教えていただいています。

人、各様、作品の幅も広くなり、釉薬も掛け分けや二重掛けなどの工夫が見られるすばらしい作品が多くなりました。私は、月に二日か三日のお付き合いです。皆さんの言葉や動作から生きることへの意欲や喜びを感じ、自分もそうありたいと思う今日この頃です。

身も楽しみに参っております。無理をせず、楽しく謡う事を心掛けながら、皆様と一緒に私も生きがいを感じていただいております。



いつも笑顔で「いらつしやいませ」「休んでいって下さい」と声をかけてくれます。



ヨークベニマル梁川店にて



デイサービス最高齢
九十六才による
相取り
昔取った杵柄
すばらしい……
かけ声かけて
よいしょ



希望の森公園にて
満開の桜の下での
お花見……
とても
きれいでした



上の写真は『簡
易昇降便座』とい
います。足が弱く
なって、トイレで
なかなか立ち上が
れない場合、手す
りの取り付けが考

今回は
福祉用具の
ご紹介です。

梁川ホーム指定居宅介護支援事業所



今年の四月、梁川ホー
ム内の介護用品展示室に
新たに三十八点の福祉用
具、介護用品が仲間入り
しました。多種多様な福
祉用具介護用品の中か
ら、これらと思うもの
を選び、ご紹介したいと思
っています。カタログを
ながめるだけでなく、実
際に手にとり、触れてみ
て下さい。

梁川町在宅介護支援センター



をつくり展示してあります。ど
うぞ遊びがてらお越し下さい。
お待ちしております。

私たちは積極的に外に出て皆
様のお声を聞かせていただい
ております。

みかけたらお声をかけて下さ
い。よろしくお願い致します。



えられますが、その他の方法と
して、この『簡易昇降便座』を
利用する方法もあります。手も
とのリモコンを操作し電動で立
ち上がりを助けてくれるもの
で、既存の洋式便器に取り付け
られます（写真内のウオシユレ
ット付便座部分は別売）、また
介護保険の福祉用具購入費の給
付対象となっています。

現在、梁川ホーム内の展示室
に展示されてますのでご相談下
さい。





— 家庭介護の — ワンポイント アドバイス

お年寄りのお世話

Q アンド A

梅雨が明けると、本格的に暑い季節となります。

この時期、お年寄りが注意しなければならないのは、「脱水症」です。

脱水症は、放っておくとお年寄りの場合は、発病して数日で亡くなってしまう、非常に怖い病気です。

Q…お年寄りが若者に比べ脱水症を起こしやすいのはなぜ？

A…その原因としては、生理的なものとして三つ上げられます。

まず第一に、筋肉が少ないからです。身体の水が足りなくなると、体内に蓄積されていた水を出してくれる組織は主に筋肉だからです。若者が水を飲まなくても脱水症を起こしにくいのは、筋肉から水が余計に出てきてくれるからです。つまり、水の予備タンクとなる筋肉が少ないお年寄りは、水を摂らないと簡単に脱水症を起こしてしまうのです。

第二には、腎機能が低下しているために、老廃物を尿として出す時の濃縮力が下がっているため、同じ量の老廃物を捨てるにしてもたくさん水分（尿）が必要になってくるためです。

第三には、感覚機能が低下して、喉の乾きをあまり感じなくなり、摂水意欲があまり起きなくなってしまうためです。

Q…脱水症を起こさないようにするには、どの位の水分が必要なのか？

A…理想的には、一日で一五〇〇ミリリットルです。この水分は、食物（固形食）以外の量です。この量は、その日の天気や体の状態で変わります。

Q…脱水症の症状は？

A…脱水症を起こすと、元気がない、発熱している、皮膚が乾燥している等の症状が出てきます。これを放っておくと、徐々にうつらうつらはじめます。更に進むと、何か理由のわからない事をいうようになり、幻覚が現れます。うわ事を言ったり、幻覚が

出てきたりします。最後は、昏睡状態になり亡くなります。

脱水は、早期に発見

下痢や嘔吐がある時は、もちろんですが、元気がなくなったり、微熱が出た時も、脱水症を疑って下さい。脇の下を触って乾いていたら、水を飲んでもらいましょう。幻覚等が出た時も、水を飲むことで状態が治ったということが多いです。この時、あわてて精神安定剤か睡眠薬を

見落としがちな脱水症状

与えたりすると、身体がグッタリして全く水を飲まなくなり、悪循環を続けることがよくあるので注意しましょう。飲む元気がなくなってしまう、点滴以外に水を補給する方法がなくなってしまう、早期に発見し対応していきましょう。



お年寄りの健康管理に関する相談がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL (577) 6111

看護師 野村

ボランティアの来園状況

(平成13年9月～14年3月)

様々なボランティアの方に来ていただき、利用者の皆様の生活の潤いとなっていることを感謝申し上げます。

▽東横高校 八巻広美様：利用者介助・会話▽福島介護福祉専門学校 須藤英恵様（梁川町）：鳴海由里子様（梁川町）：利用者介助・会話

【敬老会】（順不同）

▽ボランティア ひろせ様（梁川町）▽J A伊達みらいふれ愛グループ「つくし会」様（梁川町）、ボランティア「コスモス」様（梁川町）

【新年会】（順不同）

▽新田獅子舞保存会様（梁川町）▽ボランティア「ひろせ」様（梁川町）▽梁川町シルバー人材センター様

▽臥龍山 興国寺 大方丈様：彼岸供養▽梁川幼稚園児様：慰問 歌・遊戯▽大枝踊りグループ様（梁川町）：慰問 舞踊▽富野小学校生徒様（梁川町）：慰問 お手玉・紙芝居等▽ボランティア「コスモス」様（梁川町）：運動会協力▽桜の聖母短期大学生 池田志織様（梁川町）

：利用者介助・会話▽梁川第三長寿会様：慰問 歌・踊り▽ボランティア「ひろせ」様（梁川町）：年末の大掃除▽梁川町シルバー人材センター役員様：利用者居室の窓拭き▽五十沢小学校生徒様：慰問 踊り、あんばい柿持参▽ボランティアひろせ様（梁川町）：クリスマス会協力▽橋あき様（梁川町）：利用者介助・会話▽石神優子様（保原町）：利用者介助・会話▽東大枝婦人学級様（梁川町）

：掃除▽梁川八八会様：慰問 尺八▽梁川町児童館児童様：慰問 歌・踊り▽梁川中央保育園児様：慰問 歌・遊戯▽佐藤スミ様（梁川町）：利用者介助・会話▽梁川地区婦人保健協力員様：慰問 歌・舞踊▽萌え木の会様（国見町）：慰問 舞踊▽福島介護福祉専門学校 斎藤みか様（梁川町）、門馬純子様（福島市）：利用者介助・会話▽梁川高校生

中村厚子様：利用者介助・会話

【定期】（順不同）

▽J A伊達みらいふれ愛グループ「つくし会」様（梁川町）：喫茶（コーナー）のサービス▽梁川町陶芸サポーター会様：陶芸教室▽梁理ホーム会様：利用者理髪▽梁川俳句会様：毎月俳句を掲示▽梁川高校家庭科コース生徒様：手芸作品等持参▽梁川将棋愛好会様：将棋▽阿久津桂子様（梁川町）：利用者介助・会話▽幕田絹様・伊藤エイ様（梁川町）：押し花教室

「芳志」の遺志の寄付の状況

(平成13年9月～14年3月)

【遺志】（順不同）

・立川 幸一様（故立川ヨシイ様）
・高橋 功様（故高橋 トミ様）
・菅井 寿様（故菅井 ヨシ様）
・佐藤 昌志様（故佐藤 静様）
・三瓶 妙子様（故三瓶 フミ様）
・佐藤 福二様（故佐藤 福一様）
・加藤 宗雄様（故加藤 千代様）

【芳志】（順不同）

・渡辺 松延様（「佛前」彼岸供養）
・大石和三郎様（「佛前」彼岸供養）
・菅野 祐智様（「佛前」彼岸供養）
・谷口 憲嗣様（「佛前」彼岸供養）
・平山ミツイ様（「佛前」彼岸供養）

【寄付・寄贈】（順不同）

○霜山守二様（梁川町）「御祝い」敬老会○八巻和夫様（梁川町）「御祝い」敬老会○梁川町寿クラブ連合会女性部様「雑せん」○ふくしまニューウェーブテキストスタイル研究会様「膝掛け」○斎藤信男様（梁川町）「介護用品」○まごころサービス国見センター「柿」○岡崎春夫様（梁川町）「季節の野菜」○高橋徳衛門様（梁川町）「鉢植え」○梁川ライオンズクラブ様「シクラメン」○斎藤栄一様（伊達町）「りんご」○南山際ホース店「さらけ」様「寄付」○松藤美香子様（千葉市）「書画」○匿名希望「色画用紙」

平成 13 年 度 決 算

社会福祉法人信達福祉会

貸 借 対 照 表

(平成14年3月31日現在) (事業所別内訳)

(単位 円)

区 分		内 訳						
(大 区 分)		本 部	あつかし荘	梁川ホーム	ケアハウス	梁川町在介	川俣ホーム	合 計
資 産 の 部	1. 流 動 資 産	10,800,733	89,917,993	197,469,928	6,344,816	601,319	111,558,951	416,693,740
	2. 固 定 資 産	1,000,000	305,702,558	1,599,994,466	564,520,566	32,101,693	1,312,589,924	3,815,909,207
資 産 の 部 合 計		11,800,733	395,620,551	1,797,464,394	570,865,382	32,703,012	1,424,148,875	4,232,602,947
負 債 の 部	1. 流 動 負 債	0	18,745,245	27,944,532	2,833,113	601,319	81,808,656	131,932,865
	2. 固 定 負 債	0	16,180,469	810,228,440	282,655,434	16,470,894	523,798,062	1,649,333,299
負 債 の 部 合 計		0	34,925,714	838,172,972	285,488,547	17,072,213	605,606,718	1,781,266,164
純 資 産 の 部	1. 国庫補助金等特別積立金	1,000,000	194,218,836	723,803,082	260,113,136	14,488,653	788,656,737	1,982,280,444
	2. その他の積立金	0	122,642,830	58,750,015	21,575,420	-	-	202,968,265
	3. 次期繰越活動収支差額	10,800,733	43,833,171	176,738,325	3,688,279	1,142,146	29,885,420	266,089,074
純 資 産 の 部 合 計		11,800,733	360,694,837	959,291,422	285,376,835	15,630,799	818,542,157	2,451,336,783
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		11,800,733	395,620,551	1,797,464,394	570,865,382	32,703,012	1,424,148,875	4,232,602,947

脚 注

1. 減価償却の累計額	-	240,965,346	378,261,456	116,318,046	7,262,230	58,258,125	801,065,203
2. 移行時特別積立金の 積立不足額	-	42,697,080	-	-	-	-	42,697,080
3. 指導指針に基づいて 作成している							

社会福祉法人信達福祉会

収 支 計 算 書

(事業所別内訳)

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位 円)

区 分		内 訳						
(大 区 分)		本 部	あつかし荘	梁川ホーム	ケアハウス	梁川町在介	川俣ホーム	計
Ⅰ 経常活動	1. 介護福祉施設介護料収入	-	211,115,230	326,888,050	-	-	218,193,810	756,197,090
	2. 居宅介護料収入	-	7,141,980	118,339,974	-	-	69,823,825	195,305,779
	3. 居宅介護支援介護料収入	-	-	14,546,900	-	-	-	14,546,900
	4. 利用者等利用料収入	-	542,000	7,388,890	28,057,268	-	4,483,050	40,471,208
	5. その他の事業収入	-	839,149	2,715,680	12,950,000	6,656,000	6,684,175	29,845,004
	6. 寄付金収入	-	100,000	530,000	-	-	57,000	687,000
	7. 借入金利息補助金収入	-	-	23,692,193	10,365,409	539,981	8,348,292	42,945,875
	8. 受取利息配当金収入	28,638	61,764	23,844	6,805	318	2,917	124,286
	9. 雑収入	19,500	764,044	2,528,334	30,000	-	747,590	4,089,468
	経常活動収入計(1)	48,138	220,564,167	496,653,865	51,409,482	7,196,299	308,340,659	1,084,212,610
	1. 人件費支出	278,333	133,844,033	245,577,020	11,191,825	4,604,265	170,537,193	566,032,669
	2. 経費支出	1,911,663	64,345,306	136,134,005	24,625,877	1,988,668	95,867,404	324,872,923
	3. 借入金利息支出	-	-	23,703,973	10,365,409	539,981	9,173,087	43,782,450
	経常活動支出計(2)	2,189,996	198,189,339	405,414,998	46,183,111	7,132,914	275,577,684	934,688,042
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,141,858	22,374,828	91,238,867	5,226,371	63,385	32,762,975	149,524,568
Ⅱ 施設整備等	1. 施設整備等補助金収入	-	5,420,000	-	-	-	-	5,420,000
	施設整備等収入計(4)	0	5,420,000	0	0	0	0	5,420,000
	1. 固定資産取得支出	-	9,090,490	4,041,367	-	-	230,000	13,361,857
	施設整備等支出計(5)	0	9,090,490	4,041,367	0	0	230,000	13,361,857
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	△ 3,670,490	△ 4,041,367	0	0	△ 230,000	△ 7,941,857
Ⅲ 財務活動等	1. 設備資金借入金元金償還補助金収入	-	-	67,273,700	29,248,660	1,527,640	35,580,000	133,630,000
	2. 積立預金取崩収入	-	-	-	3,190,876	-	-	3,190,876
	3. 会計区分外繰入金収入	1,475,798	-	-	-	-	-	1,475,798
	4. その他の収入	-	115,378	-	-	-	-	115,378
	財務活動等収入計(7)	1,475,798	115,378	67,273,700	32,439,536	1,527,640	35,580,000	138,412,052
	1. 設備資金借入金元金償還補助金支出	-	-	67,273,700	29,248,660	1,527,640	35,580,000	133,630,000
	2. 会計区分外繰入金支出	-	418,000	418,000	-	-	418,000	1,254,000
	3. 積立預金支出	-	-	-	5,235,000	-	-	5,235,000
	4. その他の支出	-	1,976,910	3,530,366	170,296	63,385	2,364,680	8,105,637
	財務活動等支出計(8)	-	2,394,910	71,222,066	34,653,956	1,591,025	38,362,680	148,224,637
	財務活動等資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,475,798	△ 2,279,532	△ 3,948,366	△ 2,214,420	△ 63,385	△ 2,782,680	△ 9,812,585
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 666,060	16,424,806	83,249,134	3,011,951	0	29,750,295	131,770,126
前期末支払資金残高(12)		11,466,793	54,747,942	86,276,262	499,752	-	-	152,990,749
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)		10,800,733	71,172,748	169,525,396	3,511,703	0	29,750,295	284,760,875

社会福祉法人信達福祉会 事業活動計算書 (事業所別内訳)
(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位 円)

区 分		内 訳						
(大 区 分)		本 部	あつかし荘	梁川ホーム	ケアハウス	梁川町在介	川俣ホーム	計
Ⅰ 事業活動	1. 介護福祉施設介護料収入	—	211,115,230	326,888,050	—	—	218,193,810	756,197,090
	2. 居宅介護料収入	—	7,141,980	118,339,974	—	—	69,823,825	195,305,779
	3. 居宅介護支援介護料収入	—	—	14,546,900	—	—	—	14,546,900
	4. 利用者等利用料収入	—	542,000	7,388,890	28,057,268	—	4,483,050	40,471,208
	5. その他の事業収入	—	839,149	2,715,680	12,950,000	6,656,000	6,684,175	29,845,004
	6. 国庫補助金等特別積立金取崩額	—	5,766,765	73,337,153	23,258,673	1,302,180	58,163,250	161,828,021
	事業活動収入計(1)	—	225,405,124	543,216,647	64,265,941	7,958,180	357,348,110	1,198,194,002
	1. 人件費支出	278,333	133,844,033	245,577,020	11,191,825	4,604,265	170,537,193	566,032,669
	2. 経費支出	1,911,663	64,345,306	136,134,005	24,625,877	1,988,668	95,867,404	324,872,923
	3. 減価償却費	—	9,481,296	75,616,917	23,307,813	1,567,910	58,258,125	168,232,061
	4. 引当金繰入	—	1,861,532	3,530,366	170,296	63,385	2,364,680	7,990,259
	事業活動支出計(2)	2,189,996	209,532,167	460,858,308	59,295,811	8,224,228	327,027,402	1,067,127,912
	事業活動収支差額(3) = (1) - (2)	△ 2,189,996	15,872,957	82,358,339	4,970,130	△ 266,048	30,320,708	131,066,090
Ⅱ 事業活動外	1. 借入金利息補助金収入	—	—	23,692,193	10,365,409	539,981	8,348,292	42,945,875
	2. 受取利息配当金収入	28,638	61,764	23,844	6,805	318	2,917	124,286
	3. 寄付金収入	—	100,000	530,000	—	—	57,000	687,000
	4. 雑収入	19,500	764,044	2,528,334	30,000	—	747,590	4,089,468
	事業活動外収入計(4)	48,138	925,808	26,774,371	10,402,214	540,299	9,155,799	47,846,629
	1. 借入金利息	—	—	23,703,973	10,365,409	539,981	9,173,087	43,782,450
	事業活動外支出計(5)	0	0	23,703,973	10,365,409	539,981	9,173,087	43,782,450
	事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)	48,138	925,808	3,070,398	36,805	318	△ 17,288	4,064,179
経常収支差額(7) = (3) + (6)		△ 2,141,858	16,798,765	85,428,737	5,006,935	△ 265,730	30,303,420	135,130,269
Ⅲ 特別収支	1. 施設整備等補助金収入	—	5,420,000	67,273,700	29,248,660	1,527,640	35,580,000	139,050,000
	2. 会計区分外繰入金収入	1,475,798	—	—	—	—	—	1,475,798
	特別収入計(8)	1,475,798	5,420,000	67,273,700	29,248,660	1,527,640	35,580,000	140,525,798
	1. 国庫補助金等特別積立金組入額	—	5,420,000	67,273,700	29,248,660	1,527,640	35,580,000	139,050,000
	2. 会計区分外繰入金支出	—	418,000	418,000	—	—	418,000	1,254,000
	特別支出計(9)	—	5,838,000	67,691,700	29,248,660	1,527,640	35,998,000	140,304,000
	特別収支差額(10) = (8) - (9)	1,475,798	△ 418,000	△ 418,000	0	0	△ 418,000	221,798
当期活動収支差額合計(11) = (7) + (10)		△ 666,060	16,380,765	85,010,737	5,006,935	△ 265,730	29,885,420	135,352,067
前期繰越活動収支差額(12)		11,466,793	27,452,406	91,727,588	725,468	1,407,876	—	132,780,131
その他の積立金取崩額(15)		—	—	—	3,190,876	—	—	3,190,876
その他の積立金繰入額(16)		—	—	—	5,235,000	—	—	5,235,000
次期繰越活動収支差額(17) = (11) + (12) + (15) - (16)		10,800,733	43,833,171	176,738,325	3,688,279	1,142,146	29,885,420	266,088,074